

ふるさと東総

平成25年3月1日発行 No.12

掲載 内容

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ…………… 2
- 銚子連絡道路早期整備への促進…………… 2
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要…………… 2
- ごみ処理広域化推進事業…………… 3
- 中学生海外派遣研修事業…………… 4
- その他の主な事業…………… 4
- 情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況…………… 4



【中学生海外派遣研修事業 マリーナ・ベイ・サンズを背景にマラーイオン公園にて】

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2521 千葉県旭市ハの612-1 東総振興センター内

電話:0479-62-3305 FAX:0479-62-3302

ホームページアドレス <http://www.tksj.jp/>



はじめに ～ 震災復興とこれからの広域行政について ～

東日本大震災から2年が経過しようとしております。この東総地区は震災により甚大な被害を受けましたが、特に被害の大きかった旭市においては、市政の最優先課題として「先に見えるかたちでの復興」に取り組んでいます。また、銚子市も震災後激減した観光客の回復を目指し、今年の市制施行80周年を契機に様々な記念事業を展開します。

さて、国においては政権が交代し大きな転換期を迎えております。景気も回復の兆しはあるものの不安要素が多く、まだまだ先行きが不透明な状況であります。

このような中で、地域の自主性及び自立性を高めるための改革が推進されており、日常生活圏の広がりに対応した行政サービスの提供やまちづくりなどの高度化する行政事務への対処及び広域的な行政需要への対応がますます重要となっております。

この東総地区広域市町村圏においても、地方道路の整備やごみ処理の広域化などの住環境整備や福祉・医療施策など広域的な行政サービスの充実が望まれています。数多くの課題はあると思いますが、圏域構成市と連携し、圏域住民の皆さまと一体になり、この東総地域の恵まれた自然環境と観光資源や産業基盤などを活かしながら、人と自然が調和し安心して暮らせる地域の実現を目指して、これからの広域行政に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。圏域住民の皆さまの御健勝と御発展を心からお祈り申し上げます。

東総地区広域市町村圏事務組合管理者（旭市長） 明智 忠直

銚子連絡道路早期整備への促進



2年ぶりに第14回銚子連絡道路整備促進地区大会が、平成24年5月22日、匝瑳市八日市場ドームで大勢の方々の出席のなか開催されました。

大会主催者代表である山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「昨年3月11日発生の東日本大震災の際には、道路は救援物資の輸送や救援活動に大変重要であると再認識したところであり、豊富な農水産資源を有する地域特性を活かし、首都圏や千葉都市圏の生活基盤を支える役割を担うという自負のなか、安定した農・水・畜産品の生産と提供、そして地域住民が安心して豊かに暮らせる地域社会の確立には、道路網整備が不可欠である。」と、この銚子連絡道路の早期整備を来場者に訴えました。

東総地区広域市町村圏事務組合の概要

事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：315.60平方km

圏域人口：179,082人

銚子市 面積：83.91平方km 人口：70,210人

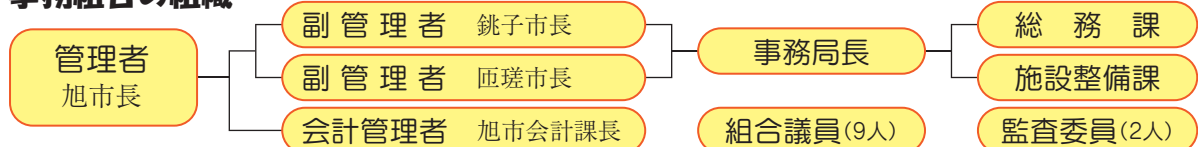
旭市 面積：129.91平方km 人口：69,058人

匝瑳市 面積：101.78平方km 人口：39,814人

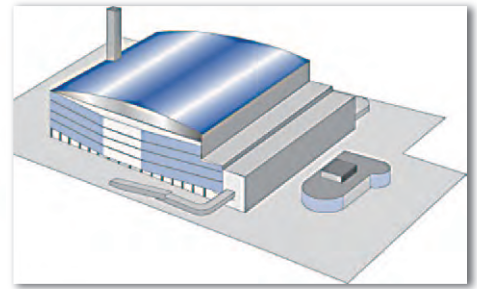
【平成22年国勢調査より】



事務組合の組織



銚子市野尻町地区に 広域ごみ焼却施設の建設を 目指しています。



地元地域の皆様と 話し合いを進めています。

事務組合では、建設計画地周辺の地元地域にお住まいの皆様に、広域ごみ焼却施設の建設についてご理解を得ることを最優先に考え、地元町内会（銚子市野尻町ほか15町）との「基本協定」の締結を目指し、取り組んできましたが、ことし2月をもって、すべての地元町内会と基本協定を締結することができました。

基本協定は、ごみ処理・施設整備に係る計画策定や処理方式の選定などを進めるとともに、建設計画地周辺にお住まいの皆様が心配するさまざまな問題点について、地元町内会と事務組合が話し合っていくことを目的としているものです。

また、基本協定を締結した地元町内会による「野尻町地区広域ごみ焼却施設建設計画対策協議会」が設立されました。

事務組合では、この協議会を窓口的な組織として、地元地域の皆様と話し合いを進めています。

ごみ処理広域化に向けて 協議を進めています。



学識経験者、3市の環境審議会委員、3市の環境担当課長、地元対策協議会選出者で構成される「東総地区広域ごみ焼却施設建設計画検討委員会」を昨年4月に設置しました（＝写真上）。

この委員会では、ごみ処理広域化（3市共同）に向けて、ごみ処理に係る計画や新たな施設整備の構想について協議を進めています。

事務組合では、広域最終処分場の建設候補地についても、銚子市内で選定していく予定です。

ごみ処理 広域化の メリット

- ・ダイオキシン類の排出削減
- ・リサイクルセンターを充実させ、効率的な再資源化の促進
- ・焼却エネルギーを利用した売電や温熱供給が可能
- ・人件費、維持管理費など、ごみ処理経費の削減・・・など

平成24年度 東総地区中学生海外派遣研修事業

圏域内中学2年生29名の参加による『東総地区中学生海外派遣研修(シンガポール／マレーシア)』が、平成24年7月24日から28日(4泊5日)の日程で実施されました。

この研修では、シンガポール市内での班別自主研修やマレーシアのプツゥリ・クライ校を訪れての交流会、プツゥリ・クライ校生徒と一緒にマレーシア文化村でのパティック体験など、積極的な英会話の実践をテーマに充実した研修を行ってきました。

班別自主研修では、事前の研修会で計画した行動予定に従ってシンガポールの街を散策しました。各班ともなかなか計画通りには進みませんでしたが、班員が協力し合い、これまで学習した英会話に身振り手振りを交えながら、道を尋ねたり買い物をしたりと楽しく一日を過ごしました。

マレーシアのプツゥリ・クライ校での交流会では、現地校生徒からは各種民族舞踊などが披露され、こちらの研修団からは歌・リコーダー演奏・手品・南中ソーランの踊りを披露しました。また交流の証として記念品の交換をしたり、校内を案内してもらいお互いの文化に触れあう事ができました。研修団一人ひとりに現地校生徒が付き添ってくれて、短い時間のなかではありましたが友好的に英会話での交流をすることができ、お互いに親交を深め、実りのある交流会となりました。

今回の研修では、中国系やイスラム系などの多民族国家であるシンガポールで、公用語である英語を通して、お互いの文化・生活・宗教を理解し尊重して生活している様子を肌で実感することができました。

この経験が、将来を担う中学生たちにとって国際社会への関心を高めるとともに、日本文化・日本の良さを再認識する一つのきっかけになってくれればと思います。



班別自主研修 英語で道を尋ねる



交流会 南中ソーラン決めポーズ



交流会 マンツーマンで英会話交流



マレーシア文化村でパティック体験

その他の主な事業

◆職員採用試験事業

構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験を合同で実施し、経費の節減・採用候補者の資質の均一化を図ります。

平成24年度

実施日：平成24年9月16日(日) 試験会場：旭市立第二中学校

参加団体：6団体(銚子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合、東総広域水道企業団、八咫水道企業団)

試験職種：15職種(一般行政職、技術職、保育士職、消防職等)

応募者数：468名 受験者数：423名

◆職員共同研修事業

構成市職員の公務員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力及び勤務能率の向上を図ります。

新任職員研修：新規採用職員

中級職員研修：在職期間10年以上の職員

監督者研修：係長又は同等の職にある者…ほか

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

◆平成24年 情報公開制度運用状況

開示請求件数 … 11件

うち開示件数 … 11件

◆平成24年 個人情報保護制度運用状況

開示請求件数 … 0件